

ゼロ歳からの教育

吉田 実際に幼児や小学生、小さい子どもたちに接して、やはり教育というのが大事だということは、ますますお感じになっていらっしゃるわけですか。

石井 最近は幼児のほうをだんだんやってまいりますと、前のほうへ関心が出てくるわけです。高校ですと、その中学、中学だと小学校、小学校ではまた幼稚園、幼稚園だとそれじゃ、いまゼロ歳の子ということで、昨年幼児開発協会というものが財団法人として誕生いたしまして、そのほうに関係しているんです。これからはゼロ歳からの教育というようなことに、私どもは注意を向けなければいけない。あまりこの面の研究がなされておりませんね。

吉田 幼児というのはもっと伸びる力があるし、小学校でもそうなんですけれども、学習と教育というものがかみ合わないまま、もちろ

んぜんぜん教えないで伸びるはずはないんですけれども、かみ合わないまま進んでいるところに、いちばん問題があるような気がします。